

科目名	経済理論A	科目コード	1159	単位数	3
担当者名	深澤 史樹	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	B,F	実務経験	無
ナンバリング	DEc503	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本講義においては、国際ビジネスなど様々な活動に参加する上で、基本的な知識となりうるマクロ経済学を理解することを目的とします。マクロ経済学は、一国の経済全体に関わる現象を分析対象としています。本講義においては、経済的变化を把握するためのデータの見方、経済成長、金融システム、失業問題、景気変動などについてデータに基づいて解説することによって、様々な経済政策の有効性や限界について理解できるようになることがねらいです。

● 到達目標

- ・ 名目GDPと実質GDP、消費者物価指数、失業率の定義とその変化について理解できる。
- ・ 長期の経済成長および短期の経済変動に関わる要因について理解できる。
- ・ マクロ経済政策が利率・物価・GDPにどのように影響を与えるのかについて理解できる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：授業形態や出欠確認方法、課題の提出など受講に関するルールとマクロ経済学とは何かについて説明する。
- 2週目 国民所得の測定：GDPの測定、名目と実質の違いなどについて学ぶ。
- 3週目 生計費の測定：物価の測定およびその変化について学ぶ。
- 4週目 生産と成長：経済成長の要因と各国の経済成長の変化について学ぶ。
- 5週目 貯蓄、投資と金融システム：経済成長において重要な投資への貸付資金市場について学ぶ。
- 6週目 ファイナンスの基本的な分析手法：現在価値および将来価値の測定について学ぶ。
- 7週目 失業：労働市場について学ぶ。
- 8週目 ここまでのまとめと中間試験
- 9週目 貨幣システム：銀行の機能・貨幣供給量について学ぶ。
- 10週目 貨幣量の成長とインフレーション：インフレーションの問題点について学ぶ。
- 11週目 開放経済のマクロ政策：貿易と為替レートが経済にどのような影響を及ぼすのかについて学ぶ。
- 12週目 総需要と総供給：総需要曲線、長期の総供給曲線、短期の総供給曲線について学ぶ。
- 13週目 総需要に対する金融・財政政策の影響：金融・財政政策による影響と問題点について学ぶ。
- 14週目 インフレ率と失業率の短期的トレードオフ関係：フィリップス曲線について学ぶ。
- 15週目 ここまでのまとめと期末試験
- 16週目 中間・期末試験の講評、再試験等の実施。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・ 予習と復習は基本的にテキストを熟読し、併せてLMSで配信する当日の講義内容を収録したオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
- ・ 予習：毎回授業で指示された箇所を予め熟読し、LMSで配信するオンデマンド動画教材に目を通しておくこと。（所要時間：90分程度）
- ・ 復習：LMSで配信するオンデマンド動画教材を視聴し、課された課題についてはLMSを通して提出すること。（所要時間：90分程度）

● 成績評価の方法・基準

- ・ 成績は、中間試験および期末試験の2回の試験結果（各100点満点）の平均点を基本とする。さらに課題の提出状況を加味することがある。

● 履修上の留意点

- ・ 第1週目のガイダンスは、講義の重要な説明をしますので、必ず出席して下さい。
- ・ 成績評価は、11週以上授業に出席した学生を対象とする。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・ 提出された課題の解答は、講義内（講義を収録した動画をLMS上へアップロード）で解説します。
- ・ 中間試験と期末試験の結果については、LMSを通じてフィードバックします。

● テキスト

N・グレゴリー・マンキュー(著),足立英之(他訳),『マンキュー経済学 マクロ編(第4版)』(東洋経済新報社),2019年,4,400円(税込)

● 参考書

石川秀樹(著),『速習マクロ経済学 2nd edition』(中央経済社),2019年,2,400円+税

● 更新日付

2024/01/31 12:42